

手をつなぐ
鹿島育成園だより
夢を語り夢をかなえる

編集者 高橋 英一

法人本部・生活支援センター
〒314-0016
茨城県鹿嶋市国末1539-1
TEL 0299(82)6464
FAX 0299(83)3261

鹿島育成園(児童寮及び育成寮)
〒311-2401
茨城県潮来市大賀438-4
TEL 0299(66)3439(代)
FAX 0299(66)3431

<http://www.kashima-ikuseien.com/>
mail:kaikusei@eagle.ocn.ne.jp

定価 100円



年頭所感

園長 高橋 英一



開けましておめでとうござい
ます。園では穏やかな新年を迎
えましたが、皆様のお住まいの
ところはいかがだったでしょう
か。北日本や日本海側では、荒
れた年末年始だった様です。

さて昨年はあちこちで障害の
有る方達に対する虐待事件や岡
山県でのA型事業所の閉鎖によ
る大量解雇等暗いニュースが散
見されました。

又、過去の事とは言え、「優性
保護法」下での人権侵害に対す
る告発等、障害者福祉に携わる
者として無関心ではいられない
事も多かつたと思います。

園には様々な事情で学齢期前
に入所して来る児童もいれば、
長い間生活されている高齢の方
もいます。

その一人一人が健康で笑顔で
過ごしてもらえよう様一層の努力
をしたいと思います。

そしてその現場を支えている
色々な職種のスタッフの心身の
健康にも配慮していきたいと思
います。

研修報告

都外施設学習会

児童指導員 佐藤 哲

一日目は「災害対策」研修、二日目は今後の福祉情勢を見据えた事業展開している「福祉コミュニティエリア」の施設見学に参加しました。

研修の目的として、実際の災害時の事例から、BCP訓練、備蓄品の見直し、連絡体制の整備、他機関との防災協定について等、各施設での取り組みについて意見交換をしながら災害に強い福祉を考えました。災害発生時の対応として障害者の安否確認は当然ですが、避難したくても避難所の環境や状況によっては避難できない方が地域にどれくらい暮らしているのかを把握し、実際に災害があった時に円滑に対応していくことが必要になると話がありました。

二日目は、栃木県日光市足尾町にある「社会福祉法人 すかい」の施設見学をさせていただきました。「すかい」では、障害

者の高齢化だけでなく、保護者から自分がいなくなつた後の心配の声が多くあり、地域貢献の意味を含め高齢者福祉にも軸足を向ける事の重要性を感じ、特別養護老人ホームの整備を進めています。障害者だけでなく、保護者、地域住民が安心して住み続けられる支援を提供する事を実現しようとしていました。

鹿島育成園でも利用者さんのニーズに応えるだけでなく、保護者の方々や地域住民が安心して関われるコミュニティを高めたいと考えているのではないかと感じました。利用者さんは安心して暮らせる、保護者の方は安心して任せられる、地域住民は安心して頼れる関係性を実現していくことから、共生のコミュニティの第一歩が図れるのではないかと感じます。災害があったとき、育成園としてどのように対応するのかをより明確にし、しっかりとした防災マニュアルの作成が必要であることを実感しました。



個別支援計画から

児童指導員 松枝 裕

私の担当する児童に支援学校高等部二年になる男子がいます。児童寮に来て三年になります。物静かな子ですが突発的に物を投げる、人を押す行為があります。また、無断外出をすることもあります。支援としてはそのような問題行動を減らしつつ、彼のできることを増やすよう計画しました。彼が問題行動にはしる要因の一つは自分の意思表示が上手くできない事にあると考えました。

彼は面と向かうと自分の言いたい事が言えなくなりません。しかし、私達が彼の意思を読み先に動くよりも彼が話し出すことを待つことにしました。そして、彼の話す事や意思表示をしつかりと受けとめ、答える事に注意を払いました。今では彼は何をしたいのかを少しずつ伝える事ができるようになってきました。次なる目標は彼が担当職員のほかに自分から話せるようになる事と考えています。最近では、



12/24 児童寮クリスマス会。今年もイオン鹿嶋店様にご参加いただきました。

話を聞いて欲しいが相手に気付いてもらえなかったので、ふいに相手の腕を掴んでしまったことがあったそうです。彼が伝える事に失敗したと感じる時は、何が駄目であったかを考えます。彼には気付いてほしいが声をかけられない時は手をあげよう、アピールしようと話をしました。最近行つた実習では、彼は言葉では難しくとも文字ならば理解が早いことが分かりました。ならば、絵や文字を使った意思表現の仕方、説明も有効であり活用していききたい。できる事を増やしていくという目標は言い換えれば可能性の幅を増やす事です。児童寮で彼を支援する期間には少なくなってきましたが彼のできる事を増やし、卒園後のその先へつなげていくようにしたいです。

育成寮



折鶴で作成した白鳥の親子、
作成期間一年の力作です。

ナイスハート美術展
金賞を頂きました



絵付け体験
(11/16)



鹿島幼稚園の園児が来寮

グループホーム便り



統括主任 鈴木 はつ子

元日はグループホームに残っているメンバーと鹿島神宮に初詣に行く事が恒例です。参道の出店を覗きながら、日頃は目にする事のないような人混みに飲まれる楽しさ?を味わい 拝殿の前で手を合わせ、少しだけ厳かな気持ちに浸って一年の始まりを確かめてきます。

「今年はいつもとより人が多かった」と鹿島神宮から戻ってきたKさんの感想。

今年も みんなが健康で過ごせますように・・・



鹿島神宮にて

オリジナルカレンダー完売

多機能型事業所
アイリス



生活支援員 石川 由美子

日中活動として取り組んでいる貼り絵や絵画を発表する機会としてカレンダーの制作を行っています。2018年分はおかげさまで完売しました。

何枚も描いていく中で、その時の気持ちによって完成した作品に違いがあり、その中の一枚を本人と選びカレンダーにしています。「本人のできることで、得意なことを活かす」作品づくりを心がけています。制作・販売を始めたことで目標が明確になり、目標を持ったことで制作現場に良い緊張感が生まれました。絵を描く楽しみが増えた、集中力が向上した、手先の機能訓練等、利用者の方によって違いがありますが様々な効果がありました。また、「次は何の絵を描こうかな」という声も聞かれ、創作意欲の向上に繋がっていると感じています。

医務室から

看護師 渡辺 加代

毎年今頃になると、インフルエンザやノロウイルスといった感染症が話題になる事が多くなってきましたね。「感染症対策」と聞くと、皆さんまず思い当たるのが、「うがい・手洗い・咳エチケット」ではないでしょうか。もちろん大切な事なのですが、施設の利用者さんにとって、なかなか徹底できないのも現状です。そこで、感染を防ぐ為に自身の免疫力を高めておく事が重要になってきます。「栄養・運動・休養」これが健康の3大要素です。しっかりと食べて、適度に運動をし、しっかりと睡眠をとる。この事を心掛けて、感染症に負けない身体づくりを目指していきたいと思えます。



児童寮 全員参加の大掃除



寄付・寄贈・招待

郡司 勝美 様 (茨城県)
 一灯 様 (茨城県)
 高田 マサ子 様 (茨城県)



新任職員紹介

宮内 華織 育成寮
 早くみなさまのお役に立てるよう頑張ります。宜しくお願いします。



収穫祭 (11/8)

多くの皆様にご参加いただきました。有難うございました。

編集後記

昨年の流行語「付度」。他人の気持ちを推し量る事だそう。十二月某日、「もうすぐ二十五日だね」と話しかけられ、「月曜日だね、ゴミ出しだわ」と返答する私は残念な顔を向けられた。今年こそ付度ができる人になっていければと強く思っています。(松枝)

行事予定

1月
 1日 元旦
 7日 法人 新年会・帰寮日
 2月
 3日 児育 節分
 23日 センター 運営連絡会議
 3月
 18日 法人 理事会



リスカ株式会社 様 (茨城県)
 全タイヨー労働組合 様 (茨城県)
 イオン鹿嶋店 様 (茨城県)
 水島由美子 様 (茨城県)
 鹿島ボランティアネットワーク様 (東京都)
 小亀 沢 様 (東京都)